

会 議 録

1 会議名

令和4年度第1回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

- ・令和4年度地域活動支援事業について（公開）

○自主的審議事項

- ・3部会（産業建設部会、健康福祉部会、地域振興部会）の取組について（公開）
- ・6地区及び各種団体からの地域課題等の収集について（公開）

○その他（公開）

- ・令和4年度板倉区における主な事業について

3 開催日時

令和4年4月19日（火）午後6時00分から午後7時30分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

4人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、米川次長（総務・地域振興グループ長兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、大堀建設グループ長、市村市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶
- ・新入職員の紹介

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
4 協議 令和4年度地域活動支援事業について、事務局に説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1、2により説明
本日は、審査日程等について、ご協議の上決定いただきたい。

【平井会長】

質問、意見を求める。

【田中委員】

5月26日の現地確認について、内容が見えない中で午後3時からとなっており、場所等によっては時間不足となる可能性があるが、この点は流動的に対応するのか。

【小池地域振興班長】

時間は、仮に設定させてもらった。回る場所の数等により時間を早めたり、遅らせたりすることが考えられる。詳しくは5月11日に示させてもらう。

【小林委員】

直接スケジュールとは関係ないかもしれないが、来年度以降の地域独自の予算の制度設計の見通しが立たないということだが、非常に日程的にはタイトであることから、これからそういった問題を地域協議会の中に説明する機会をどう考えているか。

【小池地域振興班長】

現時点ではまだ、担当課で検討中というところであり、皆さんに説明できること

は本日の時点ではない。連休明け以降に今年度地域協議会にお願いしたい取組を説明させていただきたいと考えている。説明時期については、事務局で検討し、会長、副会長と相談し日程を調整させてもらう。

【庄山委員】

9月ごろまでに予算をまとめるという話があるにもかかわらず、説明が5月末としたら、現実問題として、間に合わないのではないか。

【古澤総合事務所長】

全市的に言えることだが、現在制度設計を検討しているところで、来年に向けた予算要求についても、来年度だけでなく、次年度になるのかというところも、今流動的であり、そこを検討している状況である。早めに分かれば早い時期にお知らせしたい。今、委員からいただいたご質問は、他の地域協議会からも共通した質問をいただいていると聞いている。担当課に伝え制度設計を早く行い、今後のスケジュール感についても早めに説明できるようにしていきたい。

【田中委員】

前回の地域協議会で、皆さんから意見を吸い上げたときに、次回の地域協議会でできるだけ方向性を出したいということだったが、今の話では間に合わない。板倉区からは予算ゼロということがあり得るのではないかと心配される。各地域協議会が同じ条件だが、そういう中で、市の方針がここまで来てまだはっきりしないことは、次年度以降のものとはとにかくとして、今年度については、はっきり次回の会議には日程だけでもきちんと出せるようにお願いしたい。

【古澤総合事務所長】

今いただいたご意見については、私どもも早く皆様にお話しして、順を踏んでやっていきたいという思いは当然あるので、それについては、しっかり話を進めていきたい。

【庄山委員】

市議会で市長が「4月の上旬には皆さんにお示しできますよ」と答弁している。それにも関わらず出てこないのは、市の怠慢ではないか。それで早くしろと言われても、こっちはどうにもならない。どういう風にしたらいいかそれさえも見えてこない現状で身動きが取れない。やる気があるのかそれさえ疑問に思っている。

【古澤総合事務所長】

ご意見をしっかり受け止め対応していきたい。

【植木委員】

前回の会議の時に、皆さんの町内会の行事予定を聞き、その中でアンケートを取るといふ話があったが、実行されているのか。その中で期日がしっかり出てくると、面食らってしまう。きちんと前に進む方向で考えていただきたい。

【小池地域振興班長】

前回の会議のときに、各連協の集まりについて情報をいただいた。後ほど説明させていただくつもりであったが、資料3にまとめさせていただいてある。会長、副会長及び事務局で相談の結果、アンケート調査を4月上旬に各連協の会長充てに依頼し地域の課題を吸い上げ提出してもらうことになっている。5月9日を締め切りとし、各連協の会長に口頭でお願いをした。すべての連協の会長が協力的に受け止めていただいているが、なかなか地区全員が集まることができないので、各町内会長へ文書を配布し書いてもらうなど、課題の収集方法については連協に任せている。5月9日期限のものをまとめて整理し、5月11日に示したいと考えている。また地域活動支援事業を今まで活用していた団体が約50団体あった。その団体についても、今週、アンケートを送付した。各団体が今直面している課題があるか、日頃板倉区で暮らしていて気付いたような課題や問題があるかというアンケート項目も入れた。そちらについても5月9日までに出していただくように依頼している。すべての団体に協力いただけるかは分からないが、そちらも整理しお示ししたい。

【秋山委員】

アンケートの回答について、その町内だけでいいのか、それとも豊原地区だったら豊原地区まで含めた中でみんなが関係あるものなのか、それとも板倉区全体に関係あるものだけ出していいのか分からない。連協の会長が書いた文面によるものなのか事務局がどのように出したのか教えていただきたい。

【小池地域振興班長】

依頼した文面にはそこまで具体的には書いていない。口頭でお願いしたときに、「課題と言われてもすぐ出てこない」という会長もいらっしゃったが、どのようなものでも結構ですと伝えた。ハード面でもソフト面でもなにかお気づきのことがあ

れば上げてくださいますようお願いした。そのため町内会の小さなことでもいいし、板倉区全体のことでもいいということをご理解いただきたい。

【平井会長】

他にないか。

それでは、審査スケジュールについて案のとおりでよいか。

(異議なし)

次に、採点表について、資料のとおりだがよいか。

(異議なし)

令和4年度地域活動支援事業については以上とする。

次にその他に移る。事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

・参考資料により説明。

地域協議会だよりについて、今年度の地域協議会だより編集委員は、庄山委員、秋山委員、吉田委員、長藤委員である。編集委員長を選任と発行スケジュールについてご協議いただきたい。

次に、各種会議等への委員推薦についてだが、名簿のとおり昨年に引き続き板倉区公共交通懇話会の委員については古川副会長、上越市社会福祉協議会理事には手塚委員、光ケ原高原ファンクラブオブザーバーには田中委員にお願いするということをご確認いただきたい。

【平井会長】

地域協議会だより編集委員長及び発行スケジュールについては、委員の4人でご協議いただき、後日報告をお願いしたい。

また板倉地区公共交通懇話会委員については、引き続き古川副会長を委員として推薦し、上越市社会福祉協議会理事については手塚委員に、光ケ原高原ファンクラブについては田中委員にお願いすることとしてよいか。

(異議なし)

それでは、古川副会長、手塚委員、田中委員には引き続きよろしくをお願いしたい。

5 自主的審議事項について、3部会の前回の会議以降の進捗状況について、各部会から報告を求める。

まずは、産業建設部会から願います。

【田中委員】

先般、やすらぎ荘代表と今後の動きについて話をしてきた。前回皆さんに施設運営に対する提案書案ということでまとめた中身について説明したが、大まかにおさらいの内容を含めて概略だけもう一度報告させていただく。

大きく分けて、施設運営者が主体的に取り組む接客促進策という中で3項目。具体的には、イベントや季節限定メニューなどを掲載した月ごとのカレンダーの作成やピーアール。2点目、地域や区内のイベントの時などにテイクアウト弁当などの予約販売。3点目、月ごとのメニュー弁当の企画運営。

大きく2つ目。地域や各種団体が中心となり、施設運営者とコラボした誘客促進策ということで3項目。1点目が、施設周辺エリアのクリーン作戦やボランティア作業を施設運営者とともに、季節ごとのイベント的に実施し、入浴割引などをする。2つ目、地域の有志、ファンクラブ等によるカレンダー配布等による、区内外の誘客促進。3点目、ファンクラブ等の団体、地域の組織等によるイベント運営協力ということで大まかな内容を説明させていただいた。

これについては、あくまで施設運営者が主体的に取り組む内容だが、地域協議会としては、こういう意見もありますので参考にして、施設運営者側として検討願いたいということで、報告させてもらった。

具体的に初めてこれを提示し、これに対する具体的な取り組みを含め、今後の運営に役立てていただきたいと話をさせてもらった。

結論的に言うと、なかなか厳しいと代表からの話だった。特にこちらから提案したファンクラブ等を活用したポスティングによるチラシの配布等は、すぐにでも取り組めるものではないかと話したが、残念ながらファンクラブそのものは、そういうチラシのポスティング等頼んだところで動いていただけるとは考えにくいとの話があった。そうはいっても、具体的に進むために、皆さんからも取り組みについての集約をこちらに教えてほしいという話をした。

最終的には、とにかく経営が厳しい。ゴールデンウィークを近くに控えているが、お客さんの寄りが悪い。芝桜も、昨年地域活動支援事業を活用し、植え替え等大々的な工事をしたけれども、どの程度の花が咲くかどうかは咲いてみないと分からない

いということで、なかなか取り組みとして見えない部分もあり非常に厳しい。については、地域協議会のメンバーからもお風呂に入りに来られるだけでも結構です。何かご協力をしていただきたいということで代表から話が合った。地域協議会のほうへは私の方から報告を含め、依頼についてはお願いしておくということで打ち合わせを終わりにした。

【平井会長】

ただいまの報告について、質問意見のある委員の挙手を求める。

【手塚委員】

やすらぎ荘の関係で、毎年地域で春の祭りと秋の祭りをやすらぎ荘の駐車場でやっているが、コロナの関係で去年はできなかった。今回も子ども関連の感染が広がっていることから、地域の連協としてもどういう風にしたらよいかと話し合いをしたが、地域活動支援事業で採択していただいた芝桜とこいのぼり、そういうものを一人でも多くの方から見て、楽しんでいただき、また地元の笹寿し等を買って食べていただきたいということで、5月14日第二土曜日に活性化推進委員会の方が主体となってやるという方向で進んでいる。皆さんの中からも一人でも多く足を運んでいただけるとありがたい。

【平井会長】

他にないか。

それでは、次に健康福祉部会から報告を求める。

【小林委員】

前回の会議から新たな動きはない。前回の会議では、町内会長、民生委員及び防災士の連携したイメージについては説明し賛同をいただいているが、次のステップの関係者の協議については、日程的に地域活動支援事業等がありタイトであるため、6月以降に町内会長連絡協議会ならびに民生委員の会議等を利用し説明しご理解をいただく予定で進めていきたいと思っている。

【平井会長】

質問、意見を求める。

(質問意見なし)

次に、地域振興部会から報告を求める。

【長藤委員】

前回の地域協議会の際に、いたくら夢創會と意見交換を希望し、発起人と連絡を取り、その結果意見交換会は4月以降の予定で会の代表と今後打ち合わせを行うということを報告させていただいた。4月14日に部会を開催し、いたくら夢創會とどのような話をしたらよいか検討した。部会で出た意見としては、意見交換会といっても堅苦しくないようにしたい。また、会からの意見について直接的な回答を示す事は困難かもしれないが、その達成を目指して各種団体との連携を図る事が、地域協議会の役割ではないか等の意見があった。その後、再度いたくら夢創會の発起人と連絡をとったところ、4月は予定がつかまっており、5月のゴールデンウィーク明けくらいにならないと意見交換会ができないということであったので、その予定で進めていきたい。

【平井会長】

質問、意見を求める。

【小池地域振興班長】

健康福祉部会の報告について、事務局で補足させていただく。

前回の会議で健康福祉部会から民生委員、防災士それから町内会の関係、役割等について資料をまとめていただいたが、この資料をこれからどうやって町内会長や民生委員に見せるかというところで、総合事務所としても、もう少し見せ方を検討させてもらいたいということ、小林部会長へ説明させていただいた。4月に予定されていた町内会長連絡協議会は書面での開催となったので、先ほど小林部会長から6月以降に地域に説明させていただきたいということをお話いただいた。前回の会議でも話があったが、6地区の会長に地域協議会の委員が出向いて意見交換というのも6月以降に行いたいと事務局も考えているので、そういった機会を捉えて、どういった見せ方がいいか部会の皆さんとも話しながら地域の皆さんに説明する機会を設けたいと考えている。

【平井会長】

次に、6地区及び各種団体からの地域課題等の収集について、事務局に説明を求める。

【小池地域振興班長】

・資料3により説明。

【平井会長】

質問、意見を求める。

【小林委員】

アンケートの設問の内容について話をもらったが、地域活動支援事業を活用した団体には、サークル的な活動もあるわけだが、同じトーンでやった場合、受けたときにどういう風にまとめるかが難しいと考える。アンケートを出してあるということだが、もう少しこの間の中で、アンケートの内容や、骨子について、聞かせて欲しかった。

それと6地区の連絡協議会について、個人的には機能しているかどうか心配なところがある。そのため、意見を求められたときに、例えば針地区全体を問題意識をもってきちんと把握されているか疑問がある。それから、日程的には難しいところがあるため、話し合いをしないで個人的な意見として出てくるのではないかという疑問もある。日程的には難しいかもしれないが、やり方とすればきちんと町内会長会議をやって連絡協議会全体としてまとめて提出するのが筋だと思うがそれが難しい。

問題は、回答いただいた後、事務局としてどう選別するかということだと思う。

【小池地域振興班長】

今回、時間のない中、設問のやり方としては、漠然とした聞き方ではあるが、団体の活動に関する課題や地域の課題について聞いている。

アンケートがいくつか返ってきているが、会によって返ってくる回答も、本当に会として困っていることなどいろいろあるが、これを整理してどんな意見が出たかというところを6月以降に地域に出るときに、こういう意見がありましたということを示しながら、また総合事務所として回答できるところは回答し、新たな意見をその場でいただけたらと思う、そういったかたちで進めていきたい。

【平井会長】

質問、意見を求める。

【長藤委員】

アンケートを取ったあと、6月以降に6地区で意見交換会を行うということであ

るが、その際の地域協議会委員のメンバー構成について、昨年度は自分が筒方地区連協会長であったため、筒方地区のメンバーについて植木委員と交替していただいたが、今年度は連協会長ではなくなったので、事務局案の当初の割り振りでやっていただいで構わない。

【平井会長】

次に、その他 令和4年度板倉区における主な事業について、事務局に説明を求める。

【米川次長】

・資料4により説明。

【平井会長】

質問、意見を求める。

【庄山委員】

中山間地域活性化対策事業についてお聞きする。

令和2年度で試算すると1ha20万円だったのが、令和4年度は1ha25万6千円ばかりになっている。区内では集落協定は2で個別協定は1で、それは異動ないか。

【関根産業G長】

協定組織は14組織であり、広域協定でこのうちの12組織が構成されている。他に協定組織が2つ。組織数について変更はない。

【庄山委員】

面積が1ha増えたのか。

【関根産業G長】

令和2年度から3年度に、棚田新法に基づく棚田加算の対象となった協定が筒方地区にある。それが事業費が増加している要因となっている。

【平井会長】

ほかに質問、意見を求める。

【長藤会長】

板倉区のスクールバスの関係で、先日各戸に配布された時刻表と路線図が入った小冊子について、南中島から小石原の方の路線が抜けていた。この路線がなくなっ

たのか、それとも単なるミスなのか確認していただきたい。

【米川次長】

確認し、委員へ返答する。

【平井会長】

ほかに質問、意見を求める。

【下鳥委員】

2点ほどお聞きしたい。

地域振興事業の件について、いわゆるお祭り等はこの2年間ないが342万円予算がついているが、この予算の付け方はどういうことか。毎年約300万円ずつ付いてきたのではないかと思うが、その行方はどうなっているのか。

もう一点、指定管理施設の管理経費について、板倉保養センターについて、今回相当増額されているかと思うが、差し支えなければ、保養センターだけの予算を教えてください。

【小池地域振興班長】

地域振興事業の補助金の額について、令和4年度予算要求をするときには、令和元年度のふれあいまつりや宮古島の交流の実績額を参考に要求したところ、要求どおりの予算が計上された。

それから、昨年度の補助金で使わなかった部分については執行残額となる。

【下鳥委員】

貯金はできないのか。

【小池地域振興班長】

貯金はできない。

【関根産業G長】

指定管理施設、板倉保養センターやすらぎ荘の指定管理委託料については、2,510万6千円である。

【下鳥委員】

昨年度から相当増えていると思うがその差額はどうか。

【関根産業G長】

令和3年度は指定管理料としては809万6千円。その他にコロナの補填として、

指定管理料の上乗せで1, 246万3千円。合計で2, 055万9千円の支払い予定となっている。

【平井会長】

ほかに質問、意見を求める。

(質問意見なし)

なければ、令和4年度板倉区における主な事業については以上とする。

次に地域協議会会長と総務常任委員会との意見交換会について、4月3日に出席したので報告する。14時から16時の2時間、春日謙信交流館で行われた。

出席者は地域協議会28区中27会長、欠席は名立区地域協議会会長。総務常任委員会は8名。意見交換会の形式は4グループに分かれ、それぞれに2名総務常任委員がグループについて行われた。

今回の目的は、総務常任委員会が住民自治、地域自治、地域協議会制度をテーマに行っている所管事務調査の一環として行われた。今までの実施はなく、今回が初めてである

まず、議長があいさつを行った。合併して18年、上越市の在り様を審議している。話し合いした結果、議会の方向性を決めたい。明日の上越市のために。ということであった。

委員長から、今回の意見を4月下旬に市に提案したいとの説明があった。

意見交換会の議題として、地域協議会の課題、地域活動支援事業の課題、地域自治区制度の課題、その他の4つについて意見交換を行った。

意見交換の概略を報告する。

1 番目、地域協議会の課題について

- ・女性枠を設ける。全体の3分の1とする。
- ・方向性を区民に詳しく知らせる必要がある。
- ・公募制は残すべき。
- ・地域協議会委員の存続は今後も必要である。
- ・若い委員のサポート、教育が必要である。
- ・新しく委員になった人の学ぶ機会が必要である。
- ・地域事業の予算化というが見えない。判断できない。

- ・地域協議会委員の手当が少ない。費用弁償のみである。
- ・委員のなり手が少ない。決定権が少ない。
- ・住民自ら手を挙げる人が少なく、選挙が少ないのは住民の自治意識が浸透していない。無報酬が大きな原因である。
- ・地域協議会委員は大きな任務を背負っている。また、期待もされている。が、待遇は無報酬。意欲の低下につながる。市議とは業務内容も違うが、地域の課題については同じである。年収の差、費用弁償とはあまりにも違う。任務に見合った待遇が必要ではないか。
- ・将来ビジョンを持っている区もあるが、区によっては差が生じている。

2 番目、地域活動支援事業の課題について

- ・地域活動支援事業を廃止するなら、それに代わる代案を早く示してほしい。
- ・現行の地域活動支援事業を続けてほしい。
- ・地域活動支援事業に代わる事業を令和5年度から始めるとしているが、中身が分からない。見えてこない。
- ・継続事業は今後も引き続き助成してほしい。
- ・現在の地域活動支援事業については、地域の活性化に十分貢献してきたと思われる。

3 番目、地域自治区制度の課題について

- ・自治区制度については、平成19年に都市内分権が出ている。これに沿って進めてほしい。
- ・地域独自の予算の中身が全く分からない。
- ・地域の予算は地域協議会では組めない。
- ・地域の独自予算、計画は必要である。しかし、予算は市で組んでほしい。
- ・13区と15区は同じ土俵では語れない。いわゆるかつての町村、13区は自分たちがやってきた。旧市の15区それぞれの地域の独自の予算について地域設計を立てるのは難しい。
- ・総合事務所と住民、地域協議会の相互信頼が非常に重要である。

意見交換会で出た意見等の概略は以上となる。

最後に委員長から挨拶があり、今日の意見は現場の声を聴かせていただいた。

意見をひとつひとつ検証し、提言書を作っていきたいとのことであった。

以上、地域協議会会長と総務常任委員会との意見交換の概略についての報告である。

【平井会長】

質問、意見を求める。

【庄山委員】

問題になっていることとして、区の地域計画を策定しろということになっている。地域ビジョンというもの。もう一つは、地域の課題を集約する仕組みを各区で作れとなっている。これをどういう風に誰が作るのか、行政で作るのであればありがたいが、どういう風に作るのか。悩ましいところである。総務常任委員会の中では地域協議会委員はいらない。まちづくり振興会の中に組み入れて一緒にやったらどうかという意見もある。どういう風に出てくるのか見てみたいと思っている。

【平井会長】

ほかに意見を求める。

【長藤委員】

この場で言うべきものかどうか、皆さんにも知っておいてもらいたいので話をさせてもらうが、春のガス水道局の検針で、旧筒方小学校で漏水が発見された。今現在個別の止水栓を作って水を止めてある状態で、中でトイレ等一切使えない状態となっている。すぐに工事できるかはっきりしていないようだ。

筒方地区は6月の最初にふきんとまつりを今のところ開催する予定で話が進んでいる。そこでトイレが使えないのは非常に問題になってしまうので、できれば早くガス水道局の方に対応してもらいたいが、そういうのをこちらの方からお願いすることができるのかどうか、なるべく早く対策をお願いしたい。

【米川次長】

旧筒方小学校の漏水の件について説明させていただく。春先の検針で漏水が判明し、総合事務所でも漏水箇所の特定に動いていたが、1か所ではなく複数個所で漏水しているのではないかという状況である。施設自体の止水栓がなかったため、水が出っぱなしになる状況は、地域の水道供給においても非常にまずい状況になるということで、先週止水栓の設置を行った。連協の会長及び地区の町内会長に施設を

使う場合は、止水栓を開いて施設を利用してほしい旨伝えた。漏水箇所が特定できていないので、少しずつは水が出ている状況となるが、施設利用には影響しないかたちでお願いさせてもらっている。いずれにしても、根本的な漏水箇所を特定するなり、また新たに修繕して地域の皆様がお使いいただくのに支障のないよう管理をしていきたい。

【長藤委員】

止水栓を開ければ使えるということだが、確か基本料金は市で払ってもらっているが、従量料金は連協に請求が来ていると思う。止水栓を開けたときは、漏水しながら使っているということで、どんどんメーターが上がると思うが、それに対する対策は何かあるか。

【米川次長】

冬季間の漏水だけでかなりの金額になっている。その部分については、漏水ということで、減免対応等させていただくようなかたちで交渉をしている。今後については、今ほど申し上げたとおり早期に対応する中で漏水のない状況にしていきたい。地域からご負担いただいている使用料については、今ここで詳細を把握していないのでまた確認し連絡させてもらう。

【長藤委員】

できるだけ早く正常な状態に戻るよう努力してもらいたい。

【平井会長】

私から一つ報告させていただく。4月13日ゑしんの里観光公社の評議委員会があった。議題は、ゑしんの里観光公社の定款の変更についてであった。内容については、取引の制限等についてが一つ、もう一つは2月29日付で新しく宮下新理事長が就任した。その報告であった。

その他については以上とする。

- ・5月の地域協議会の日程について確認

【古川副会長】

- ・挨拶

【米川次長】

以上で、第1回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。